

消火器具の概要表

備考

用途	() 項	構造	耐火構造で内装制限したもの・その他										
延べ面積	m ²	必要能力単位								緩和対象の消火設備	有・無		
付加設置部分の有無		有（少量危険物・指定可燃物・電気設備・火気使用設備）・無											
階	用途	床面積等	消火器具の種別及び個数							能力単位			
			a	b	c	d	e	f	合計	A	B	C	
合計													
備考													

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- aは粉末消火器、bは泡消火器、cは強化液消火器、dは二酸化炭素消火器、eはハロゲン化物消火器及びfは水消火器をいう。また、能力単位C欄は、該当する消火器が設置してある場合に○印で記入すること。
- 付加設置すべき部分がある場合には、各階ごとに、用途の欄にその部分を記入すること。
- 通常の消火器のほかに、簡易消火用具又は大型消火器がある場合は、それぞれ区別して記入すること。